

◆ 5大がんが5分でわかるパネル ((59×83cm) ×10 枚)



検 診 内 容

食事制限などの必要は全くなし。
無地のTシャツを着たままでも撮影可能

胸部エックス線検査

医療機関で胸部のレントゲン撮影

喀痰検査 (問診の結果、必要な人のみ)

専用の容器に痰を3日間採取する検査



胸部撮影の写真
肺がんの早期発見に役立ちます。また、心臓や大動脈の病気の発見にも役立ちます。

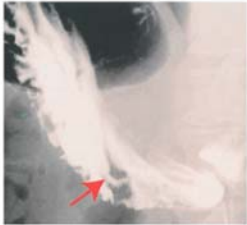


検 診 内 容

飲むバリウムの量は、
わずかコップ1杯程度

胃X線検査

- 1 夕食を前日の8時までにはすませ、朝食を抜いておく
- 2 少量の発泡剤と水を飲んで胃を膨らませる
- 3 バリウム(造影剤)を飲み、胃のレントゲンを撮る
- 4 バリウムを出すために下剤を飲む



胃がん所見のあるレントゲン写真

大腸がん

女性で死亡数が多いがん第1位。
自覚症状はほとんどなし。便に血が混じることがあるが、早期の場合は微量で、多くの場合、肉眼では見えない。

5年生存率

95%
早期¹にて治療

9%
遠隔転移後、治療

現状での全期を合わせた
生存率 68%

※ここでのがんの早期発見とは検出（がんが検出臓器に留まっているもの）

検 診 内 容

自宅で簡単にできる
便の採取で検査が可能

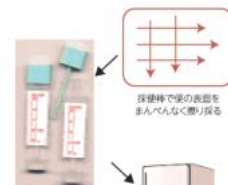
便潜血検査（検便）

便に血が混ざっていないかを免疫学的反応で調べる

- 1 専用の容器を取りに行く
- 2 自宅で専用の容器に2日間、便を採取する
- 3 指定の場所へ持っていく



大腸がん所見のある写真



専用の容器

取り戻った棒は
専用ケースに入れ
冷蔵庫で保管します。

※便が乾燥した状態のため、汚染などの心配はありません。

乳がん

女性がかかりやすいがん第1位。
20人にひとりが一生のうちでかかる。
初期のうちでは自己触診では見つげづらい。
またしこりのできない乳がんもあり、その場合はマンモグラフィが有効。

5年生存率

98%
早期¹にて治療

28%
遠隔転移後、治療

現状での全期を合わせた
生存率 86%

※ここでのがんの早期発見とは検出（がんが検出臓器に留まっているもの）

検 診 内 容

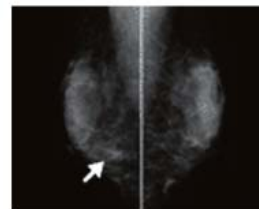
撮影時間はほんの数分。
自己触診では見つからない早期の
がんも発見可能。

マンモグラフィ

乳房を撮影台と板の間に挟み、レントゲンを撮る

専門医による触診

専門医が触診し、しこりがないかを調べる



乳がん所見のあるレントゲン写真

子宮頸がん

セックスで感染するウイルスが主な原因。
20代—30代でもかかる。
初期症状がないことが多く、発見が遅れるため
にかかった人の3人に1人が命を落としている。

5年生存率

92%

早期¹にて治療

14%

遠隔転移後、治療

現状での全期を合わせた
生存率 74%

※ここでのがんの早期発見とは頸がん(がんが卵巣臓器に転移しているもの)

検 診 内 容

検査時間は5分程度。
痛みもほとんどなし。

細胞診検査

大きめの綿棒で子宮の入口を軽くこすって細胞を採取し、
専門医が異形の細胞がないかを確認する。

